

お元気ですか

南 恵子 です

発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



羽田飛行ルート変更 南風案2の場合

A滑走路 出発も到着も使用 さらにB滑走路の出発時と交差に

危険では

国土交通省は、時期は未定ですが羽田飛行場の離発着便数を増やす計画をすすめています。1時間あたり80回を90回に増やすことで、南風2案の場合、到着機は40回が44回に増えます。滑走路の使用頻度が上がるだけでなく、交差による危険も予想。

南風2案の場合が八潮に大きな影響が出ることがわかりました。

①はA滑走路、②はC滑走路で到着時に使用。使用回数は40回から44回に増えます。また、④はB滑走路で、③のA滑走路と離陸時に使われます。使用回数は40回から46回に増えます。

ここで問題なのは、A滑走路です。

①の到着と③の離陸が同じ滑走路になるために、使用時間に時間差をつけることになるのは当然ですが、ちよつとしたことで間違いが起きないとも限りません。危険な事態になることも予想されます。

離陸後の3分、着陸前の8分の「魔の11分」

「魔の11分」とはよく言われる言葉ですが、離陸後の3分と着陸前の8分のは、パイロットがコンピュータではなく手で操縦するために

一番危険な時間帯といわれています。離陸や着陸に際して、集中し、気象状況など様々な問題を把握しながら操縦しなくてはならないために、航空事故の8割がこの時間帯に起きていくというのです。

一番危険な操縦を要求されるのに、わずかな時間差で同じ滑走路を使用するのですから危険です。ましてや航空機事故は、一度起きたら大勢の人の命が失われるのですから、安全にも安全を期す体制と条件整備は欠かせません。

国際競争に勝つために飛行回数を増やすことより、安全を優先するべきです。しかし、国は経済性の優先です。こんな政治でいいのでしょうか。

共産党はこの問題を区議会でも取り上げる（12月11日、本会議）と、区の答弁は、「騒音で区民生活への影響は大。羽田は2030年に限界になる。国には、住民への説明会を開くように言っている」

暮らし 憲法9条 守れ 原発再稼働 許さない

国民との共同で政治の転換を

今回の衆議院選挙の結果は18年ぶりの画期的躍進でした。比例は606万票(11%)、小選挙区は704万票(13%)を獲得。今後は、議案提案権を大に行使し、国民と共同して悪政に立ち向かいます。

東京で1から3議席

総選挙の結果は、画期的な躍進といえるものでした。東京では笠井亮さんが引き続き議席を守り、さらに、宮本徹さん、池内沙織さんの2議席が加わりました。大きな力を与えていただきました。

対案示し国民と共同して悪政を転換

安倍政権の「この道しかない」は、多くの国民が不安になる危険な道でした。一方、日本共産党は「別の道がある」と5つの転換を示しました。

今後の議会活動は議案提案権を大に行使して、安倍政権の暴走を止めるために5つの転換を具体的な内容で示して全力で頑張ります。

(一面の続き) というだけで、区民生活を脅かす問題なのに容認の姿勢です。これでいいのでしょうか。

す。

本当に「自民圧勝」と言えるのか

マスコミは自民党が多くの議席を得たことで「圧勝」と報じました。本当に圧勝なのでしょいか。

自民党は一人しか当選できない小選挙区で223議席、比例では68議席。圧倒的に小選挙区制度により多数の議席を得たのです。しかも小選挙区では71議席も落としています。比例の得票率は33%にすぎません。これで信任を受けたなどとされては困ります。

選挙結果は、共産党が議席を増やしたことが救いです。期待しています。(八潮の住民)

比例票品川のみ	今回の総選挙(2014年)	今回と昨年参院選「増減」	昨年の参院選(2013年)	今回と前回総選挙「増減」	前回の総選挙(2012年)
共産党	24069	2386	21683	10507	13562
自民党	55330	2040	53290	8155	47175
民主党	28688	12347	16341	▲ 348	29036
公明党	17076	▲ 711	17787	299	16777
社会党	3433	705	2728	50	3383
維新	23498	3887	19611	▲ 16381	39879